

県立宮崎病院

■ 病院の概要

■ 病院長	菊池 郁夫
■ 所在地	宮崎市北高松町 5-30
■ TEL	0985-24-4181
■ 研修実施責任者	阿久根 広宣
■ 病床数	638 床
■ 年間入院患者実数	144,715
■ 一日平均外来患者数	692
■ 救急取扱患者数	8,150



(平成 29 年度実績)

■ 研修受入診療科

内科、外科、麻酔科、小児科、産婦人科、精神科、神経内科、放射線科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、救急科、心臓血管外科、循環器内科、総合診療科

■ 研修施設の特徴

大正 10 年に設立された当院は、県庁所在地である宮崎市の中心部に位置し、多数の診療科を有する地域の中核的病院としての役割を担っております。「第三次救急医療施設」、「地域がん診療連携拠点病院」、「エイズ治療中核拠点病院」、「地

域周産期母子医療センター」などの他、多くの専門学会認定医・専門医の研修・教育（関連）施設に指定されており、移植医療については、腎臓移植、骨髄移植を実施しております。

■ 研修症例および指導体制の特徴

〈内科〉

【研修症例】

1. 経験できる頻度の高い症状:

全身倦怠感、不眠、体重減少・増加、浮腫、リンパ節腫脹、発疹、横断、発熱、頭痛、めまい、失神、胸痛、動悸、呼吸困難、咳・痰、嘔気・嘔吐、胸焼け、嚥下困難、腹痛、便通異常、腰痛、関節痛、歩行障害、四肢のしびれ

2. 経験できる緊急を要する症状・病態:

心肺停止、ショック、意識障害、脳血管障害、急性呼吸不全、急性心不全、急性冠症候群、急性腹症、急性消化管出血、急性腎不全、急性感染症、急性中毒、誤嚥、誤飲

【指導体制】

内科・循環器内科のスタッフおよびレジデント(卒後 3 年以上)が指導する。

入院受け持ち患者数は約 10 名であり、必ず指導医とペアで診療する。

《麻酔科》

【研修症例】

1. GIO(一般目標)

麻酔のテクニックだけでなく、周術期管理の基本を学ぶ。

2. SBOs(行動目標)

- | | |
|------------------|------------|
| ①術前患者評価ができる | ⑦腰椎穿刺ができる |
| ②胃管を入れることができる | ⑧硬膜外穿刺ができる |
| ③中心静脈カテーテルを挿入できる | ⑨疼痛管理ができる |
| ④観血的動脈ラインが挿入できる | ⑩呼吸管理ができる |
| ⑤気道確保ができる | ⑪循環管理ができる |
| ⑥気管挿管ができる | ⑫体液管理ができる |

【指導体制】

基本的に、マンツーマンで指導を行う。

《小児科》

【研修症例】

1. 小児急性感染症

上気道炎、気管支炎、肺炎、感染性胃腸炎、尿路感染症、中耳炎、髄膜炎、脳炎、麻疹、流行性耳下線炎、水痘、突発性発疹症、インフルエンザなど

2. 小児の脱水症

3. 小児けいれん性疾患

熱性けいれん、無熱性けいれん

4. 小児喘息

5. その他

先天性心疾患、先天異常及び染色体異常、貧血、出血性疾患、溶連菌感染後急性糸球体腎炎、慢性腎炎、紫斑病性腎炎、ネフローゼ症候群、川崎病、若年性関節リウマチ、SLE、下垂体疾患、甲状腺疾患、糖尿病

【指導体制】

指導医によるマンツーマンの指導を基本に、スタッフ或いはレジデント（卒後3年目以上）による指導により様々な症例を経験していく。

指導医・先輩医師からのメッセージ

県立宮崎病院は、22診療科を有する全県レベルの中核病院として、100名を超える医師が在籍しています。

県内各地から多くの患者が来られ、初期研修医の2年間に、common diseaseから稀少疾患まで様々な疾患・症例を経験することができます。手技も確実に身に付くよう、懇切丁寧に指導を行っていきます。

1921年（大正10年）設立の当院は、宮崎県を代表する歴史と伝統ある病院です。これまで、多くの優秀な医師を輩出してきました。これからも、実力のある医師を育てていきたいと思っております。

